

こどもとメディアについて

にこにこ通信 2月号

みなさんは、メディアと聞くとどんなものを思い浮かべますか。

テレビ、タブレットにスマホ、ゲームなどがありますね。私たちの生活の中で、メディアはどうしても切り離せないものです。

ついつい、テレビやスマホに頼ってしまいがちですが、テレビやスマホに頼る育児は、親と子どもが顔を合わせる時間を減少させ、子どもの言語や感性の発達に影響があるといわれています。

言語は、意思や要求を伝えたりするのに重要なものです。言語が育つための条件として、一つの言語が1000回以上続くと言語を獲得すると言われてます。

また、赤ちゃんは、人とのやりとりを通して育ちます。特に3歳頃までは、言語の発達だけではなく、いろいろな心身の発達の基礎が、人や自然と触れ合う中で育つ大切な時期なのです。

「遊びは子どもの主食です。」日本小児科医会ポスターがあります。

- | | |
|-------|--|
| 愛着形成 | 親の顔と声と手は、赤ちゃんにとって最高のおもちゃです。 |
| 外遊び | 五感や体力を育て、毎日が新しい発見や体感の連続です。 |
| 集団遊び | ことばや運動能力、社会性(ルールを守る)、相手を思いやる心などが育ちます。 |
| お手伝い | 子どものやりたがる気持ちを大切に、親子のかかわりで生活能力、役立ち感が養えます。 |
| 生活リズム | しっかり遊ぶとぐっすり眠り、よく食べるようになります。
～スマホを置いて ふれあい遊びを～ |

親子一緒に、メディアから離れる時間をつくり、会話をしたり絵本を読んだり、遊びを楽しむ時間をつくりましょう。

子育てをする中で、メディアに触れることもあると思いますが、時間をきめて上手につきあっていきましょう。